

中央委員会を代表してのあいさつ(レジメ)

幹部会委員長 志位 和夫

いかにして東アジアを戦争の心配のない平和な地域にしていくか

- ・ ASEANの最新の到達点——平和をつくる多くの英知が
- ・ 日本共産党の「外交ビジョン」への評価——二つの発展方向について
- ・ 憲法9条をもつ日本こそが、北東アジアで「対話の習慣」をつくる先頭に

日本の政治の行き詰まりを、どうやって打開していくか

- ・ 腐敗政治、経済無策、戦争国家、人権後進国——自民党政治の全体が末期的状況
- ・ どうやって日本の前途を開くか——二つの大きなカギ

党建設の歴史的教訓と大局的展望について

- ・ およそ10年にわたって新入党員の「空白の期間」ともいうべき時期が
- ・ 中央の党建設の指導上の重大な弱点と、今後の党建設に生かすべき最大の教訓
- ・ 党勢を長期の後退から前進に転じる歴史的チャンスの時期

大会決議案が明らかにした社会主義・共産主義論の意義について

- ・ 「人間の自由」こそ、マルクス、エンゲルスが一貫して求め続けたもの
- ・ 国民の疑問や関心から出発して、未来社会論を語るうえで、最も合理的な組み立て
- ・ 党建設を後退から前進に転じるうえで、決定的な力を発揮する